

艦艇装備研究所における岩国海洋環境試験評価サテライト（仮称）  
有識者委員会の開催について

概要 まち・ひと・しごと創生本部において、「政府関係機関移転方針」が決定され、艦艇装備研究所の機能拡充に合わせて岩国海洋環境試験評価サテライト（仮称）（以下「試験評価施設」という。）の山口県岩国市への設置について検討が進められているところ。当該試験評価施設の民生分野における活用方法等の検討の資とするため、艦艇装備研究所に有識者委員会を設置し、下記のとおり岩国海洋環境試験評価サテライト（仮称）有識者委員会（第3回）を開催しましたので、お知らせします。

記

1. 日時：令和元年8月6日（火） 10時00分 ～ 12時30分

2. 場所：防衛装備庁艦艇装備研究所

3. 出席者：

有識者委員（職名は委員会開催時点。敬称略、五十音順。）

（委員長）	浦 環	東京大学 名誉教授
	轟 章	東京工業大学 工学院機械系 教授
	蜂屋 弘之	東京工業大学 工学院システム制御系 教授
	堀 憲次	山口大学 副学長（学術研究担当）
	吉田 弘	海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 技術開発部 次長

防衛装備庁

	外園 博一	防衛技監
	金子 博文	艦艇装備研究所長
	篠原 研司	艦艇装備研究所研究企画官
	小出 俊輔	艦艇装備研究所プロジェクト調整官
	片山 泰介	技術戦略部技術計画官

#### 4. 議事概要

有識者委員会において、ご意見の集まったところは、下記のとおり。

- ROV (Remotely Operated Vehicle) のオペレーター競技会等や学会での発信等を通じ、施設のPRを効果的に実施してゆくことが重要である。
- 本施設の特徴である音響計測を中心に、活用の可能性等をアピールするとともに、民間活用促進に向け施設のスペックについて積極的に公開することが重要である。
- 中小企業や大学等の施設利用に際しては今後柔軟な対応を検討する必要がある。
- 研究協力を行う場合には、施設利用から得られる知財の管理方針を整理する必要がある。

以上